



いじめ
ひとごとではなく、^{じぶんごと}自分事～

1. いじめアンケート実施！～自分事ととらえよう～

第一回定期テスト最終日に、「学校生活・いじめについてのアンケート」を実施します。本校では、いじめについて、『いじめ防止対策基本方針』を策定し、いじめの「早期発見」、^{さくてい}「見逃しゼロ」を掲げています。その他内容についての詳細は、学校HPから確認できます。

さて、いじめとは、どのような定義だったでしょうか。2・3年生は、昨年度に「いじめ防止授業」を実施し、確認しました。覚えていますか…？

<いじめの定義>

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

つまり、心身の苦痛を感じているかどうかポイントとなります。他人の気持ちを理解することは、^{ようい}容易ではありません。だからこそ、相手の立場を思いやることがとても大切です。学校内で起きているトラブルにおいても「(相手が)そこまでいやがっていると思ってなかった。」「遊びのつもりで冗談で言ってしまった(してしまっていた。)」ということがよくあります。あとになって振り返るとやりすぎていたと考えることができることも多いです。現在の自分の言動でいやな思いをしている人がいないか、今一度、自分自身で振り返ってみましょう。

6月14日に実施する「学校生活・いじめについてのアンケート」では、生徒のみなさんの声を学校が聞くことで問題の「早期発見」、「見逃しゼロ」や「重大事態化を防止」していくことに加え、いじめについて、一人ひとりが『他人事ではなく、自分事』としてとらえていくことも目的としています。いじめについて、一人ひとりが許されることではないという認識のもと学校生活を過ごせるようになると、みんなが安心・安全に過ごしやすい学校をつくることができるのではないのでしょうか。あなたたちの学校をあなたたち自身がよりよい場所としていくために、いじめは『他人事ではなく、自分事』としてとらえ、いじめを許さない^{ふんいき}雰囲気を生徒のみなさんが主体となってつくっていける学校になるといいですね。

確認しよう、その言葉が世に出る前に!

あなたの投稿が、取り返しのつかない結果を生むかも。
あなたの言葉が、凶器となって誰かを傷つけることのないよう
ここでチェックしよう。

- ✓ あなたの言葉で傷つく人はいませんか？
- ✓ 同じ言葉を相手に直接言えますか？
- ✓ 投稿が半永久的に残っても大丈夫ですか？
- ✓ 情報の発信源は信頼できますか？

SNS
あなたの使い方
大丈夫?!